

# 「ICT技術セミナー ポストコロナ時代を見据えた地域DXの推進」を開催 ≪地域におけるDX導入事例をもとに≫

総務省四国総合通信局(局長:野水 学(のみず がく))は、四国情報通信懇談会とともに、令和3年1月27日(水)に「ICT技術セミナー ポストコロナ時代を見据えた地域DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進≪地域におけるDX導入事例をもとに≫」を開催し、自治体、企業、大学、通信事業者などから92名が参加しました。

## 【講演①】ローコードツールとしてのkintone活用によるDXの推進

サイボウズ株式会社 カスタマー本部 ローカルプランディング部 部長 久保 正明 氏

「2025年の崖」(既存システムの様々な課題やICT技術者不足からDXが実現できずに大きな経済損害が生じる可能性)が懸念される中、その対策の1つとしての「ノーコード」「ローコード」(最小限のソースコードでソフトウェア開発を高速化するためのITツール)によるアプリ開発について、「サイボウズkintone」を使った取組が紹介されました。

## 【講演②】NTT西日本が実現するDX/ニューノーマル事例

西日本電信電話株式会社 四国事業本部 ビジネス営業部 SE部門 ビジネスイノベーション担当課長 佐々木 智章 氏

西日本電信電話株式会社 四国事業本部 ビジネス戦略部門 スマートビジネス推進担当課長 西山 智則 氏

NTT西日本が考えるDX/ニューノーマルと、現在取り組んでいる事例(様々な業態/企業におけるDXを実現するソリューション事例、NTT西日本グループにおける商材事例等)が紹介されました。

## 【講演③】香川大学のデジタル化・DX化の取り組みについて

香川大学 創造工学部創造工学科 情報システム・セキュリティコース 教授 八重樫 理人 氏

コロナ感染症の拡大を受け、香川大学ではデジタル化・DX化を推進すべく香川大学DX化推進技術支援室を設け、大学のオンライン化や大学の事務のデジタル化・DX化にむけた取組が実施されています。本セミナーでは、デザイン思考プロセスに基づいた地域DX実証試験への取組や、香川大学のオンライン教育や大学事務のデジタル化・DX化の状況や現在進行中の取組が紹介されました。

## 【講演④】コマツが目指す建設現場のデジタルトランスフォーメーション

株式会社 小松製作所 スマートコンストラクション推進本部 事業開発部 主幹 村上 数哉 氏

調査・測量・施工・検査といった建設生産プロセスを3Dデータでつなぎ、「安全で、生産性が高い、スマートでクリーンな未来の現場」の実現を目指す「スマートコンストラクション」の取組が紹介されました。

参加者アンケートでは「現場での実例は参考になる。」、「他分野のかなり進んだ事例と考え方がかなり刺激になった。」、「紹介されたツールや方法論が活かせるか検討したい。」、「メーカーと共同の取組の様々な事例と効果、今後更に強化していくポイントが分かりやすく、非常に参考になった」、「DXに最も遠い存在であると思っていた建設分野での状況を興味深く拝聴できた。」などの声が寄せられました。

四国総合通信局では、地方公共団体、企業、一般の方々に、ICT/IoT利活用に関する理解を深めその取組を進めていただくため、今後もセミナーを開催するなど啓発に努めてまいります。

(主催) 四国総合通信局

(共催) 四国情報通信懇談会

(後援) 中国四国農政局、四国経済産業局、四国経済連合会、  
公益財団法人 e-とくしま推進財団